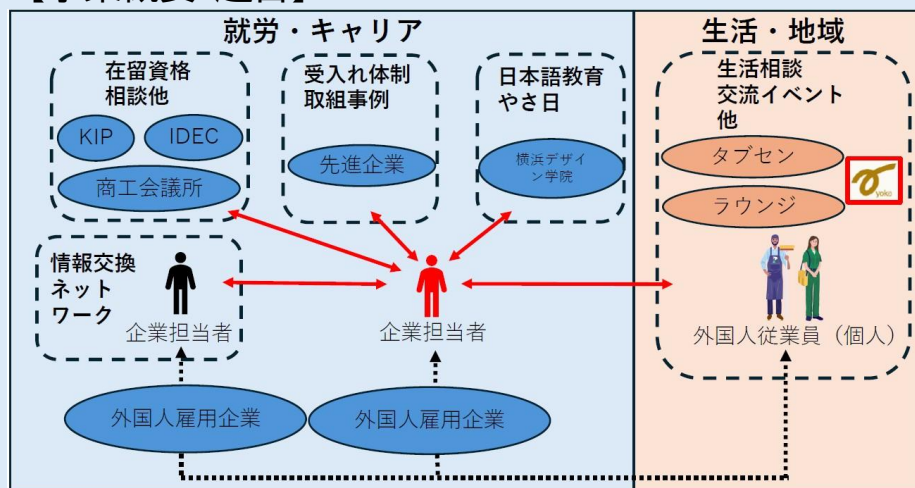


【取組4-8】外国人雇用企業情報交換会
「よこはま外国人材受け入れセミナー」 実施報告

運営受託：(公財)横浜市国際交流協会

テーマ	外国人材受け入れの事例発表と情報交換
登壇者	<ul style="list-style-type: none"> ・ (株)飛鳥エンジニアリング 管理・営業部人事・営業グループ部長 柳瀬 治史 氏 ・ 横浜デザイン学院 日本語多文化共生PROPIリーダー 専門課程日本語学科教務主任 佐久間 みのり 氏
日時・場所	2025年11月19日(水)14時～16時 横浜デザイン学院
対象	市内で外国人社員を雇用している、または雇用予定の企業
参加人数	18人(10社2団体)

【事業概要・趣旨】



外国人社員を雇用する（もしくは検討中の）企業等に向け、業界団体と連携した情報交換会を実施する。

外国人材受け入れのための環境整備や、日本語教育の取り組み、生活支援の場を紹介するとともに、企業担当者が外国人雇用について相談できる機関を知り、直接つながる機会を提供する。

【目的・目標】

- ・参加企業が外国人材受け入れのための取り組みを進めていく一助とするため、外国人材を雇用し環境整備を進めている企業の取り組み事例と日本語教育機関によるやさしい日本語によるコミュニケーションの実践事例を知る機会を提供する。
- ・外国人材の雇用・定着につながるように、業界団体や日本語教育機関等と連携し、企業が外国人材受け入れや日本語教育について相談できる機関を知り、つながる機会を提供する。
- ・外国人社員の生活相談や地域の交流できる場につながるように、企業担当者が横浜市国際交流協会（YOKE）や国際交流ラウンジ等の外国人の生活支援を行う機関の取組や活動を知る機会を提供する。

*国際交流ラウンジ：市内在住の外国人のための生活情報提供、多言語相談、日本語教室の開催、通訳ボランティアの派遣、日本人との交流活動などを行う多文化共生の拠点。市内13区に設置されている。

【取組4-8】外国人雇用企業情報交換会
「よこはま外国人材受け入れセミナー」 実施報告

運営受託：(公財)横浜市国際交流協会



【実施した事業プログラム内容】

<事例発表1> 「外国人材受け入れの取組」柳瀬 治史氏

既存社員の異文化理解促進や社内での日本語研修など業務に関わる取り組みのほか、外国人社員が「孤立しない」ための社員同士のコミュニケーションの場づくりや、外国人材受入前、受入後の取組など紹介された。

<事例発表2> 「企業内日本語教育とやさしい日本語」佐久間 みのり氏

企業向け日本語研修の事例紹介の他、母語ではない言語(英語)での早口な指示を聞き取る体験や、様々なレベルの方の日本語聞き比べ等を通して、外国人社員とのコミュニケーションについて理解を深めた。その後、やさしい日本語や外国人社員とのコミュニケーションのポイントが紹介された。



<情報提供> 「外国人社員の生活支援」(公財)横浜市国際交流協会

<業界団体・行政書士・登壇者との情報交換会> 各ブースでの情報交換

【成果】

登壇者や情報交換会参加団体へは、外国人社員の受け入れ時の対応、日本語教育研修の予算感や期間等の目安、外国人材紹介依頼に関する相談などが寄せられた。その内1社では実際に日本語教育研修も始まっている。セミナー後も、留学生の就職受け入れについて企業から日本語教育機関への連絡が寄せられるなど、事業終了後も参加企業と登壇者、関係機関とのつながりが継続している。

また、市内国際交流ラウンジや多文化共生総合相談センターなど、外国人社員の生活支援や地域での交流の場について企業担当者を知ってもらうことができた。

その他、関係者への情報提供や新聞での記事掲載など外国人材受け入れの取組について広く発信することができた。

【参加者の声】

生活支援の大切さを改めて感じた

早口の英語を聞いて、外国で働くことを想像したらどれだけ心細いかを痛感した。

外国人社員受け入れの際の、既存社員への理解促進の取組について知りたい

【課題や今後に向けての改善点】

外国人雇用企業向け情報交換会を継続して実施することで、外国人材受け入れや生活支援について知り、各相談機関と直接つながることのできる機会を増やしていきたい。現状YOKEと業界団体、外国人雇用企業のつながりが限定的であるため、特に外国人社員が増加している業界の関係団体との関係構築を進めていく必要がある。あわせて開催形式や対象人数も検討していきたい。